

# かつしか 区議会だより

## 第3回定例会

9月	7日	本会議（一般質問等）
	8日	本会議（一般質問、議案の付託等） 決算審査特別委員会
	9～14日	常任委員会 （保健福祉、建設環境、文教、総務）
	15～17日	特別委員会（地域活性化・区民サービス 向上対策、危機管理対策、都市基盤整備）
	21日	議会運営委員会
	22日	本会議（議案の議決等）
	24～30日	決算審査特別委員会
10月	1日	議会運営委員会
	4日	本会議（議案の議決等）

主な内容 2・3面…一般質問 4面…4年間の任期を振り返って 5～7面…決算特集 8面…可決された議案ほか

No.250 令和3年（2021年） 10月25日発行 葛飾区議会 〒124-8555 葛飾区立石5-13-1 ☎3695-1111 FAX5698-1543



東四つ木避難橋

## 令和2年度決算5件を 審査・認定

今回の定例会では、8名の議員から区政一般質問が行われたほか、令和3年度一般会計補正予算（第5号）をはじめ、計17件の区長提出議案等17件

と、京成本線京成高砂駅から江戸川駅付近における鉄道立体化の早期事業化に向けた意見書（下欄参照）など、議員提出議案3件が可決されました。

## 可決された意見書（要旨）

第3回定例会では次の意見書3件を可決し、関係機関に送付しました。  
（件名の下の☞は意見の分かれた意見書です。各派の賛否は8面に掲載）

### 京成本線京成高砂駅から江戸川駅付近における鉄道立体化の早期事業化に向けた意見書

京成高砂駅付近の踏切は、ピーク時の遮断時間が50分以上にも達する「開かずの踏切」であり、踏切事故の発生による危険性や交通渋滞の発生のほか、排気ガスによる環境悪化を招いている。また、京成高砂駅から江戸川駅の間には、10か所の踏切が存在するため、鉄道により地域が分断され、地域住民の経済活動への影響など、深刻な課題を長年抱え、一体的なまちづくりが進まない状況にもなっている。東京都では平成20年6月に京成本線京成高砂駅から江戸川駅付近を事業候補区画に位置付け、現在、鉄道立体化の可能性について調査検討を進めており、葛飾区においても、鉄道立体化を見据えた高砂駅周辺地区のまちづくりを地域住民と協働で進めている。

よって、東京都に対し、京成本線京成高砂駅から江戸川駅付近における鉄道立体化の早期事業化に向けた取り組みを着実に推進するよう、次の事項を強く求める。①京成本線京成高砂駅から江戸川駅付近の連続立体交差事業の早期事業化を図ること。②鉄道立体化に合わせた高砂駅周辺地区のまちづくりの実現に必要な支援を講ずること。

### 出産育児一時金の増額を求める意見書

厚生労働省によると2019年度の出産費用が正常分娩の場合、全国平均額は約46万円であり、室料差額等を含む費用の全国平均額は約52万4000円となっている。出産にかかる費用は年々増加し、費用が高い都市部では現在の42万円の出産育児一時金の支給額では賸えない状況になっており、平均額が約62万円と最も高い東京都では、現状、出産する人が約20万円を持ち出している計算となる。

一方、2019年の出生数は86万5239人で、前年に比べ5万3161人減少し過去最少となった。少子化克服に向けて、安心して子どもを産み育てられる環境を整えるためには、子どもの成長に応じた、きめ細かな支援を重ねていくことが重要であり、一時金はその大事な一手であると考えられる。少子化対策は、わが国の重要課題の一つにほかならず、子育てのスタート期に当たる出産時の経済的な支援策を強化することは欠かせない。よって、国会及び政府に対し、現在の負担に見合う形に出産育児一時金を引き上げることを強く求める。

### 選択的夫婦別姓制度の法制化に関する議論を求める意見書

平成30年2月に内閣府が公表した世論調査において、夫婦別姓も夫婦別姓も選べる選択的夫婦別姓（姓）制度の導入に賛成または容認すると答えた国民は66.9%であり、反対の29.3%を大きく上回ったことが明らかになった。しかし、現行の民法では、婚姻時に夫婦のいずれか一方が姓を改めることと規定している。このため、望まない改姓を伴うことで、自己同一性を喪失し苦痛を伴う、一部の資格証では旧姓の使用が認められない、姓を維持するために法的な保障の少ない事実婚を選択せざるを得ないなどの問題が生じている。政府は旧姓の通称使用の拡大の取り組みを進めているが、ダブルネームを使い分ける負担の増加、社会的なダブルネーム管理コスト、個人識別の誤りのリスクやコストを増大させる等の問題も指摘されている。また、通称使用では、自己同一性を喪失する苦痛を解消するものにはならず、根本的な解決策にはなっていない。また、改姓を望まないと考ええる人や現行の民法では改姓をしなければならないことから結婚を諦めてしまう人がいるため、一層非婚や少子化につながる要因にもなっている。このような状況から、国連の女子差別撤廃委員会は、日本政府に対し女性が婚姻前の姓を保持する選択を可能にするよう再三にわたり民法の改正を勧告している。さらに、平成27年12月の最高裁判決に引き続き、令和3年6月の最高裁決定においても、夫婦同姓規定が合憲とされる一方、夫婦の氏に関する制度の在り方については、国会で論ぜられ、判断されるべきであるとされたところであるが、依然として国会での議論は進んでいない状況である。よって、国会及び政府に対し、選択的夫婦別姓制度の法制化に関する議論を行うよう強く求める。

政治家の寄附は、禁止されています。また、年賀状等時候の挨拶状（答礼のための自筆のものを除く。）を出すことも禁止されています。

議員等政治家が、お祭り、親睦旅行会、会合などの行事に寄附や差し入れ等をしたり、お祝い金（出産・新築等）、贈り物（お中元・お歳暮等）をすることは、公職選挙法により罰則をもって禁止されており、要求した人も罰せられます。



# 区政を聞く一般質問 (要旨)

詳しい内容は、会議録(11月中旬発行予定)をご覧ください。会議録は、区議会公式サイトや区政情報コーナー(区役所3階)、図書館などでご覧になれます。

**ユニバーサル社会の実現**  
SDGs推進のための具体的な計画の検討に当たり、ユニバーサル社会の実現に向けた着実な行動を取り入れていくべきと思うがいかがか。

答 基本計画に掲げたSDGsの推進を

**公園整備**  
公園の敷地面積的にも、障害者に配慮した駐車場を設けている上でもインクルーシブ遊具を設置すべき公園がある。障害者と健常者が共に遊べ

**受動喫煙防止及びび煙対策への取り組み**  
問 区の責務として、青砥駅に近い場所に屋内喫煙所を設置することを求める。今後の方策を伺う。

答 屋内型で臭いや煙の影響を受けにくい喫煙所の設置については、民間が整備する事例もあるため、設置の新たな仕組みとして検討していく。

**総合庁舎・立石駅北口市街地再開発事業**  
問 立石駅北口の再開発ビル棟棟と現庁舎新館を大規模改修して庁舎機能を一ツに分けることになったのか。答 現庁舎新館は棟棟に配置しなくても区民の利便性が低下しない部署機能を設置する出先機関として活用することを想定しており二ツに分けて総合庁舎を整備するものではない。

**無所属 (※1)**  
透明で公平な人事評価で適切な区政運営を

特別職・管理職人事  
問 適切な区政運営には、成績主義に基づく透明で公正な人事評価が欠かせないと考えるが、区長の見解を伺う。

答 人事考課制度を導入し、能力や実績に基づいた人事管理の徹底、組織全体の士気高揚、公務能率の向上を図っている。

**職員の人件費削減**  
問 職員の人件費削減は、区職員として長年の功績や学校教育、社会教育、スポーツ振興等への進言の深さを勘案した。副区長は、区民サービス向上のため補佐として必要と見做しているが、区議会の職務の遂行に必要と見做しているのか。答 区長は、区民サービス向上のため補佐として必要と見做しているが、区議会の職務の遂行に必要と見做しているのか。答 区長は、区民サービス向上のため補佐として必要と見做しているが、区議会の職務の遂行に必要と見做しているのか。

**新小若・奥戸地域の街づくり**  
問 これからの新小若南地域を包括した公共施設の在り方と整備方針の策定を進めるべきと思うがいかがか。

答 新小若南地域や高層マンション建設など新小若南地域全体の姿を見定め、行政需要に即応できる公共施設の在り方を検討することが必要と考える。全庁的に情報共有・連携を図り、葛飾区公共施設等経営基本方針に基づき公共施設の集約・再編を進めながら、新小若の街に必要な公共施設を整備できるような検討を行う。

**SDGs推進のための具体的な取組**  
問 区内最大の事業者である区がゼロエミッションにどう取り組むのか伺う。

答 SDGs推進のための具体的な取組として、区内最大の事業者である区がゼロエミッションにどう取り組むのか伺う。

**健康面・経済面で安心安全に暮らせるための施策の推進**  
問 高齢者訓練促進給付金の制度利用増を期待しているが、区独自の取り組みはありますか。

答 高齢者訓練促進給付金の制度利用増を期待しているが、区独自の取り組みはありますか。

**颯新かつしか**  
問 大規模地権者言いなりの再開発ならやめるべきか。

答 大規模地権者言いなりの再開発ならやめるべきか。

**他の質問件名**  
区立学校のプール選考過程を明確にし事実の答弁を

児童相談所・一時保護所候補地の選考過程など

問 児童相談所・一時保護所候補地の選考過程を明確にし事実の答弁を

**職員の人事制度関係の冊子**  
問 職員の人事制度関係の冊子について、区長の見解を伺う。

答 職員の人事制度関係の冊子について、区長の見解を伺う。

# 区政を聞く一般質問 (要旨)

詳しい内容は、会議録(11月中旬発行予定)をご覧ください。会議録は、区議会公式サイトや区政情報コーナー(区役所3階)、図書館などでご覧になれます。

**日本共産党葛飾区議会議員団**  
区役所移転・建て替えは中止にして区民のいのち・暮らしを最優先に

**新型コロナウイルス感染症対策**  
問 オレンジブック・パリンブック開催と感染対策は無関係という開催や都の言い分は成り立たない。開催を強行し、区民の多くが感染し死に至っている現状を招いた。区長は政府と都に対して抗議すべきではないか。答 国や東京都などは、感染症対策を行うとともに、会場を無観客にするなど、安全・安心対策を取ったので抗議する考えはない。

**区役所建て替え計画**  
問 立石駅北口再開発の総事業費は試算で31億円、その約7割、66億円を税金で占めることになる。なぜ一民間事業に区民一人当たり14万2千円もの税金を使わなければならないのか。税金の無駄遣いどころか、コロナ禍の下、税金の使い方が間違っていると思うがどうか。

答 防災性向上等の課題解消と、都市基盤の整備や良質な住環境創出のため市街地再開発事業を進めており、国や東京都の補助金等公共施設や防災性の高い施設建築物の工事費に充てるなど、高い公共性を有している。区役所移転・建て替えは中止すべきと思うがどうか。

**自由民主党議員団**  
ホームドア早期整備への支援拡充と区民の自転車保険加入の促進を

**安全・安心なまちづくり**  
問 亀有警察署お花屋交番の移転について、地域の状況を踏まえ、用地の確保を構築していただきたい。

**SDGsの今後の取組**  
問 今後のSDGs普及啓発の充実と理念にかなった施策・内部体制の構築によるSDGsの推進をすべきと思うが、区の見解を伺う。

答 本年2月に葛飾区SDGs推進本部を設置し、SDGsかつしかの実現に向け全力を挙げた取り組みを開始しており、今後普及啓発に積極的に取り組んでいく。また、多くの施策がSDGsに関係しており、今後これらの施策を事業化しながら具体的な推進が期待できる。また、少額の保険料で加入できる自転車損害賠償保険の導入を検討し、全ての自転車利用者が保険に加入できている状況を実現する。他の質問項目 今後のシェアサイクルの具体的な取組、自転車安全講習の拡大 など

**葛飾区議会公明党**  
複合施設のメリットを生かした整備とユニバーサル社会の実現を

**街づくりの推進と賑わいの創出**  
問 レクリエーションの場としての河川空間の活用についての区の方針を伺う。

答 河川空間をより積極的に活用し、にぎわいづくりにつなげるレクリエーションの場の整備に向け取り組む。今後は、現在取り組んでいる葛飾あらかわ水辺公園の再整備にディレクション等の施設も検討している。

**建設中の新小若北地域複合施設**  
問 社会状況の変化や重症心身障害児等の施設需要も増大する中、療育分野の対応の拡大が求められることから、イムス東京葛飾総合病院との連携を推進するともに受け入れ枠の拡充を図るべきと思うがいかがか。

答 社会状況の変化や重症心身障害児等の施設需要も増大する中、療育分野の対応の拡大が求められることから、イムス東京葛飾総合病院との連携を推進するともに受け入れ枠の拡充を図るべきと思うがいかがか。

**児童虐待受被害者検閲報告**  
問 第三者委員会は第三者である有識者中心で構成し、原則公開に是正すべきと思うがどうか。

答 第三者委員会は内部機関であり、今後の第三者委員会を設置する場合は、外部委員中心の構成にする。他の質問項目 児童相談所 など

**区役所建て替え計画**  
問 立石駅北口再開発の総事業費は試算で31億円、その約7割、66億円を税金で占めることになる。なぜ一民間事業に区民一人当たり14万2千円もの税金を使わなければならないのか。税金の無駄遣いどころか、コロナ禍の下、税金の使い方が間違っていると思うがどうか。

答 防災性向上等の課題解消と、都市基盤の整備や良質な住環境創出のため市街地再開発事業を進めており、国や東京都の補助金等公共施設や防災性の高い施設建築物の工事費に充てるなど、高い公共性を有している。区役所移転・建て替えは中止すべきと思うがどうか。

**区内のJR各駅におけるホームドア整備の見直し**  
問 JR東日本から亀有駅と金町駅、総武緩行線の新小若駅に早ければ令和4年度に整備工事に着手するための区補助金活用を申し入れがあった。これは、これまでの予定に比べ、2年から数年前置けになったもので、長年続けたものと受け止めている。他の質問項目 ホームドア早期整備のための鉄道事業者への支援

**SDGsの今後の取組**  
問 今後のSDGs普及啓発の充実と理念にかなった施策・内部体制の構築によるSDGsの推進をすべきと思うが、区の見解を伺う。

答 本年2月に葛飾区SDGs推進本部を設置し、SDGsかつしかの実現に向け全力を挙げた取り組みを開始しており、今後普及啓発に積極的に取り組んでいく。また、多くの施策がSDGsに関係しており、今後これらの施策を事業化しながら具体的な推進が期待できる。また、少額の保険料で加入できる自転車損害賠償保険の導入を検討し、全ての自転車利用者が保険に加入できている状況を実現する。他の質問項目 今後のシェアサイクルの具体的な取組、自転車安全講習の拡大 など

**葛飾区議会公明党**  
複合施設のメリットを生かした整備とユニバーサル社会の実現を

**街づくりの推進と賑わいの創出**  
問 レクリエーションの場としての河川空間の活用についての区の方針を伺う。

答 河川空間をより積極的に活用し、にぎわいづくりにつなげるレクリエーションの場の整備に向け取り組む。今後は、現在取り組んでいる葛飾あらかわ水辺公園の再整備にディレクション等の施設も検討している。

**建設中の新小若北地域複合施設**  
問 社会状況の変化や重症心身障害児等の施設需要も増大する中、療育分野の対応の拡大が求められることから、イムス東京葛飾総合病院との連携を推進するともに受け入れ枠の拡充を図るべきと思うがいかがか。

答 社会状況の変化や重症心身障害児等の施設需要も増大する中、療育分野の対応の拡大が求められることから、イムス東京葛飾総合病院との連携を推進するともに受け入れ枠の拡充を図るべきと思うがいかがか。



# 4年間の任期を振り返って

11月12日をもって、議員の任期が満了となります。そこで、任期を振り返り、各会派からのメッセージをお届けします。

## 自由民主党議員団

日頃より、自由民主党議員団に多くの支援やご意見をお寄せいただき、深く感謝申し上げます。

自由民主党議員団は、青木克徳区長とともに、この4年間も、みなさまが葛飾区に住んでよかったと思えるまちづくり、そして、多くの方に葛飾区に住んでみたいと思っただけでなく、数々の重要課題に取り組んでまいりました。

少子化や超高齢化、外国人区民の増加や地球温暖化による異常気象など、私たちの生活を取り巻く状況は、大きく変化しています。その様な中で、昨年の初めから一気に感染が拡大した新型コロナウイルス感染症は、私たちの日常生活を一変させました。誰も経験したことのない状況の連続で、今も状況は刻々と変化しております。

自由民主党議員団は、1人10万円給付金の迅速な支払や、子育て世帯への給付金の区独自上乗せ、プレミアム付商品券の発行拡大やワクチンの安定的な接種体制の確保、PCR検査の拡充と補助など、状況の変化を的確にとらえ、必要な対策を実現してきました。こうした緊急な対応を要するときに、区民のみなさまの生活に必要なことを速やかに実現していくことも、第一党である自由民主党議員団だからこそ可能であり、積極果敢に取り組んでまいりました。最近、SDGsという言葉をよく聞くようになりました。持続可能な開発目標と訳されますが、災害や人口減少、産業の衰退といった将来に向けて心配されている課題に対し、一つひとつ着実に対応を積み重ね、この先も発展していける社会をつくるという事です。自由民主党議員団は、待

機児童解消、学校におけるICT活用  
の推進、介護予防、再生可能エネルギー普及の助成、木造家屋の耐震対策、商店街振興、公共交通の充実など、積極的に取り組んでいます。

自由民主党議員団は、青木克徳区長が掲げる「夢と誇りあるふるさと葛飾」を実現するため、今後も区長として、葛飾区議会の責任者として、これからも区民のみなさまがいつまでも安全安心に暮らし続けられるまちづくりを進めてまいります。

## 葛飾区議会公明党

区民の皆様には、平素からご支援・ご厚情を賜り、心から感謝申し上げます。葛飾区議会公明党は、生活者の目線から数々の政策を提言し実現するために全力で取り組んで参りました。この4年間は大型台風等の自然災害の発生が相次ぎ起こり、防災対策の強化を図る中で新型コロナウイルス感染症が発生、未だ収束の兆しが見えませんが、市民生活、地域経済は厳しい状況が続く中、新型コロナウイルス感染症を防止対策として、ワクチン無料接種の円滑な実施に向け、予約サポートや、大規模接種会場の増設などを全力で推進して参りました。

子育てに苦労されている世帯への臨時給付金、また、生用品の無償配布も実現いたしました。35歳から55歳の就職氷河期世代を雇用する区内の中小・小規模事業者を奨励金の交付も推進してまいりました。激甚化する災害に、川に囲まれた葛飾の水防対策の強化をはじめ、老朽化した橋の架け替えや道路の舗装、電線を地中に埋める「無電柱化」の推進、防災公園の整備などを推進して参りました。災害時に避難所にもなる学校施設の耐震

## かつしか区民連合

この4年間の任期中は、かつしか区民連合の活動にご理解、ご協力賜りましたこと感謝申し上げます。4年前の区議選の後に同じ志を持つ5名でかつしか区民連合を結成し、活動を続けてくることができたのも区民の皆様のお支えがあったからだと存じ、御礼申し上げます。

この間、葛飾区の各地域の課題に対し、常に現場に足を運び、区民の皆様とともに解決に向け努力をしてまいりました。特に令和元年の台風による風水害及び避難所開設、また、令和2年に発生した新型コロナウイルス感染症対策では区民の命と財産を守るため、その都度青木克徳区長に対して緊急要望を重ねてまいりました。その中でも社会的に弱い立場の方々への支援体制の整備を進め、危機管理体制

化を進めるとともに、改築予定間近の学校を除き、区内のすべての小・中学校の体育館へエアコン設置を進め、2021年度末までに完了することになりました。待機児童対策として、保育所の増設を推進し、この10年間で、新たに区内53か所の認可保育園、認定こども園を設置しました。児童相談所の区内設置に向けた取り組みを推進。区内の小・中学校の児童生徒用に1人1台のタブレット端末の配備も実現しました。区内小学校49校、すべての通学路の総点検を後押しし、防犯カメラを設置し、特に、交通量の多い箇所などを中心に、安全対策を強化して参りました。これからも葛飾区議会公明党は、区民の皆様のお声を聴く力を最大限に発揮し、住んで良かった、住み続けたい葛飾区を目指し、区政発展に全力で取り組んで参ります。

## 日本共産党葛飾区議会議員団

区民のいのちと暮らしをどう守るのか、区政のあり方が問われた4年間でした。特筆すべきは、新型コロナウイルスの感染拡大でした。区民の暮らしも生業も大変ななかで自治体としての対応が問われました。

わが区議員団は、区長へ15回の要望書を提出し、PCR検査の拡充、医療・保健所体制の充実、ワクチンの迅速な接種、暮らし・生業の支援などを求めてきました。

一昨年の台風19号など災害の激甚化は地球規模での気候変動が影響しており対策が急がれます。区議員は遅れて荒川の堤防強化や避難所改善などを求めてきました。

金町地域では、住民運動と結ぶ学童保育クラブ増設に道筋をつけました。バス路線を一貫して要求し、増便・増設を実現し、立石新駅舎にホームドアを設置させることになりました。

わが区議員団は、今後も区役所建替えなど無駄使いをやめさせ、暮らし・福祉第一の区政実現のため全力を尽くします。

## 颯新かつしか

しがらみのない政治を貫き、区政には区民第一の目線からは是非々々で臨ん

## 無所属 (※1)

選挙の不振で一年浪人。待機児童解消策や子育て支援策の改善案。散見される法治主義原則を逸脱した行政運営を指摘、改善。長期にわたる健全な財政運営を実現する方策について提案。総合庁舎の立石駅北口への移転について

## 無所属 (※2)

この4年間、区民の皆様のお声を一つひとつ丁寧に拾い上げ区政に反映できるように取り組んで参りました。高齢者施策においては地域包括ケアシステムの充実に取り組み、認知症保険を導入しました。また交通不便地域の解消にも積極的に取り組み、細田循環路線バスを導入しました。今後も魅力にあふれ、誰もが住み続けたい街の実現に向けて全力で取り組んで参ります。

## 無所属 (※3)

区長から提案された議案を追認するだけではなく、会派に縛られるでもなく、区民目線で精査してまいりました。鎌倉公園改修もその一つです。後半2年の区政は、コロナ禍により区民生活が不安に包まれ、議会の責務が問われました。区民のお役に立てたか否か、自問自答を繰り返しての4年間でした。行政と区民の架け橋として、地域への貢献をモットーに今後も働き続けます。

## 無所属 (※4)

要望書を提出し続けた4年間でした。公園の遊具設置、動物福祉、長年放置されていたせせらぎ通りの道路の全面補修、カーブミラーや街路灯、そして橋の照明の設置実現等、全て皆様の要望がきっかけです。コロナ対策では広報活動の見直し等が実現しましたが、今も毎日多くの意見を頂く日々です。区民の皆様への感謝と今後も尽力できることを心より願いつつ結びとします。

## 無所属 (※5)

4年間、多くの方々から活動を支えていただきました。ありがとうございました。コロナ禍で命と生活が危機に晒され、区民の福祉向上を最優先にした行政運営と税金の使い方が求められています。駅前再開発事業への税金投入を見直し、区民主体の区政運営を訴えてきました。今後も働く人を大切にす

## 無所属 (※6)

青木区政の4年間は着実に成果があったものと評価する。また将来を見据えた本区の基本構想や前期実施計画の着手等、今後の区政運営を大いに期待して止まない。一方、保育の待機児童解消にも尽力され、その効果は高く評価する。さらに障害者や高齢者にもきめ細かく配慮され、優しいまちづくりに一層取り組んでいただきたい。今後の青木区長のリーダーシップに期待する。



# 令和2年度各会計決算

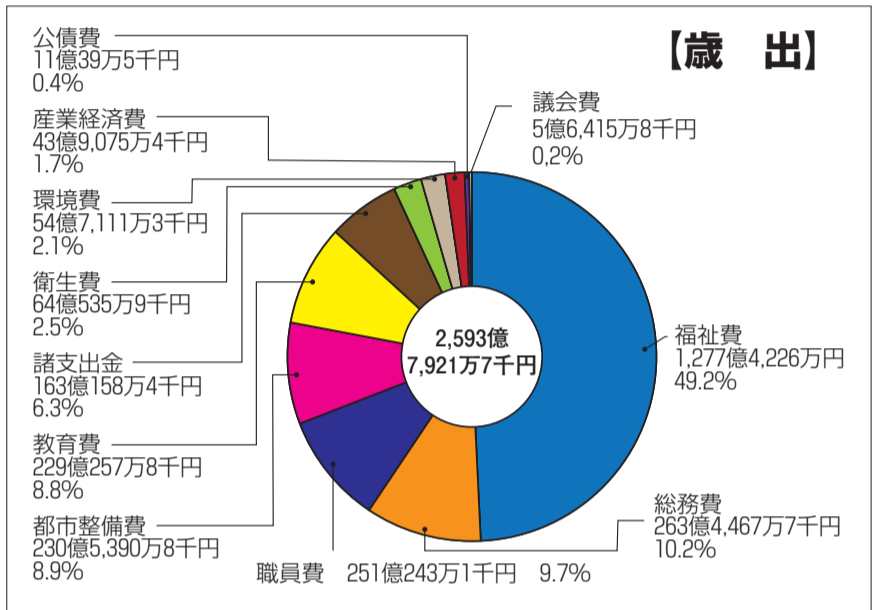
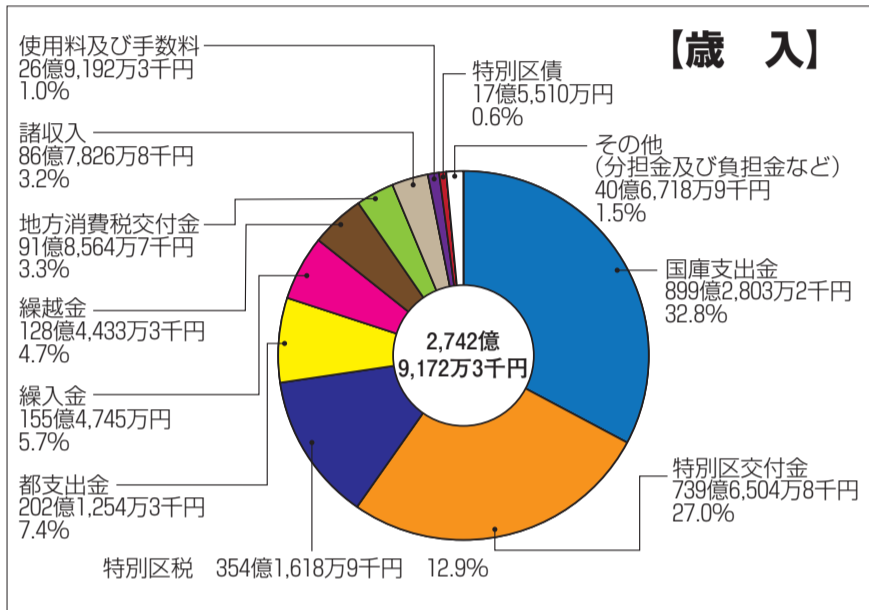
	歳入決算額(円)	対前年度 伸び率	歳出決算額(円)	対前年度 伸び率	歳入歳出差引額 (円)
一般会計	274,291,723,177	30.2%	259,379,216,750	31.1%	14,912,506,427
国民健康保険事業特別会計	44,020,600,513	-3.8%	43,560,132,676	-4.3%	460,467,837
後期高齢者医療事業特別会計	10,543,335,389	1.4%	10,543,335,389	1.4%	0
介護保険事業特別会計	40,148,218,644	2.9%	39,226,727,719	1.8%	921,490,925
駐車場事業特別会計	701,108,888	2.4%	700,813,444	2.4%	295,444
合計	369,704,986,611	20.6%	353,410,225,978	20.6%	16,294,760,633

9月8日の本会議において、令和2年度各会計歳入歳出決算5件を審査するため、34名の議員で構成する決算審査特別委員会が設置されました。決算の審査は、第1から第4までの各分科会において詳細に行われ、その後、決算審査特別委員会において、各会計決算についての採決を行い、いずれも認定すべきものと決定し、10月4日の本会議において認定されました。

## 決算審査特別委員会

## 令和2年度決算を審査

### 一般会計



※千円未満を四捨五入しているため、合計と内訳の計が一致しない場合があります。

## 令和2年度決算に対する各会派の意見

この面から7面まで、各会派の意見を掲載しました。

**自由民主党議員団**  
葛飾区の明るい未来の実現に向け、今なすべき区政運営を。総務費の総合庁舎整備検討経費は、地下工事を減少させるなど、工事費を抑える検討を進め、1階・2階の商業部分の面積をより多く確保できる計画を求める。契約事務経費は、仮校舎など工事を行う賃貸借契約は、できる限り工事契約で発注し、議会の審議を受けて欲しい。災害対策経費では、旧小谷野小学校が避難所となった際の水、トイレ使用ができる機能の維持管理の徹底を望む。産業経済費の観光資源づくりに事業経費は、堀切菖蒲園の冬のライトアップは、観光庁の補助金がなくなっても、一定規模の事業継続ができるように、区からの助成などを要望する。川基跡地の活用について、道の駅などを参考に観光の経済波及効果を最大限に高める魅力的な施設整備を望む。福祉費の新型コロナウイルス感染症対策経費について、令和2年度当初は、マスク等の衛生用品が不足しエッセンシャルワーク継続が困難な時期があった東京都とも連携し業務が滞ることのないよう各施設の備蓄品の充実を要望する。看護小規模多機能型居宅介護施設定期巡回・随時対応型訪問介護看護施設の整備は評価する。情報交換を深め地域包括ケアシステムの更なる充実を望む。児童相談体制強化事業経費は、人材確保策として幅広い世代のOBODGの採用を検討することを要望する。子ども未来プラザ管理運営経費は、近隣住民の方々がアスベストの飛散による不安を感じる事のない安全な生活を送れるよう、小菅保育園跡地の早期のアスベスト除去工事を要望する。保育園及び児童館への冷房器具の設置を望む。衛生費は、報道等では3回目のワクチン接種も出ており、今後も接種を希望する全ての方を取り残すことのない対応を望む。環境費は、清掃事務所建設にあたり、太陽光発電を使い、緊急災害時用掲示板を屋上に設置する

等効果的な整備を望む。生ごみ処理機等購入助成経費は、助成限度額を維持し、区民利用の促進維持を望む。都市整備費は、災害時における踏切遮断に対する対応と開かずの踏切対策について、鉄道事業者との協議を望む。立石地域の再開発は、交通広場地下の自転車駐車場の再検討と立石駅周辺全体としたエリアマネジメントの考えを地域に周知し、再開発完了後も残る組織を作り、賑わいが持続する街づくりを望む。堀切地区の街づくりに関して、京成電鉄と密な連携を強化した取組を望む。街づくり費の歳出で不用額が多額に計上されているが、よく検討した活用を求める。区内の問題のあるバス停留所に対して早急にバス事業者との協議を求める。公園費は、都営住宅跡地等の利用は地元地域の要望を十分踏まえた検討を望む。教育費は、SNSがつかつ子ルール啓発を通じデジタルリテラシーを高める取り組みを望む。家庭と学校との間でオンラインで欠席届などが出せるよう、ホーム&スクールアプリの活用を進めるよう求める。修学旅行キャンセル料負担金については子ども達の貴重な体験の機会としてできるだけ修学旅行を実施し、キャンセル料を一律負担することがないよう求める。東綾瀬小学校隣地の都営住宅跡地を第2校庭として購入し、整備後の活用方法について、しっかりと現場との調整を望む。学校外プールの利用については概ね賛成であるが、地元の見解を聞き議会の意向を踏まえながら慎重に進めるべきであり、奥戸・水元の公共プールでの指導に関しては民間に負けないしっかりとした水泳指導の実施を要望する。社会教育費は、お花茶屋図書館と隣の地区センターを複合的に活用できるような改修を求める。

**葛飾区議会公明党**  
区民の生命と安全・安心を守る区政運営を。区民の皆様が安心して暮らし続けることができる、区民第一の区政運営を

進められるよう求めます。議会費・職員費は概ね適正に執行されておりとします。総務費 40種類の手続きでの今後の押印廃止により区民サービスの向上が図られるので、スピード感をもって取り組むことを望みます。デジタル化の推進では、利用できない方にも職員出前講座の活用などきめ細やかな支援を要望します。災害対策では、河川監視用カメラ設置の調査により、今後7か所に設置される予定です。今後も設置可能な箇所への増設を望みます。各部所管の事業を複合化し運営する公共施設の名称を本来の機能が分かる表記とするよう検討を求めます。産業経済費 デジタル版プレミアム付商品券を区民にとって使いやすく、商店の方々にも商機の拡大になるよう取り組むことを要望します。福祉費 パランしようぶの整備を評価するとともに更なる整備と親つき後の施設の拡充を望みます。看護小規模多機能型居宅介護施設、定期巡回・随時対応型訪問介護看護施設の更なる拡充を望みます。子育て支援環境にとって有意義な子育てひろば事業は、今後の事業展開に工夫を凝らしサービス向上を求めます。また施設改築、改修需要に備え有効な財政運営を求めます。医療的ケア児及びその家族に対する支援に関する法律の施行に基づき、医療的ケア児を受け入れる施設の整備を求めます。

衛生費 若年がん患者の在宅療養支援制度の構築とがん患者の緩和ケアに取り組むことを求めます。新型コロナウイルス感染症は、全希望者が11月中旬に完了するよう望みます。子宮頸がんワクチンは、接種率の向上と接種対象者を高校3年生まで拡大する事を求めます。環境費 東京23区1千万区民による「ゼロカーボンシティ特別区」の検討を評価し、達成に向けた実効性の高い取組を期待します。ごみの集団回収では、回収団体、回収業者への支援と、一番身近な区民サービスであるごみ収集の安定的な維持のために、雇上業者

進められるよう求めます。議会費・職員費は概ね適正に執行されておりとします。総務費 40種類の手続きでの今後の押印廃止により区民サービスの向上が図られるので、スピード感をもって取り組むことを望みます。デジタル化の推進では、利用できない方にも職員出前講座の活用などきめ細やかな支援を要望します。災害対策では、河川監視用カメラ設置の調査により、今後7か所に設置される予定です。今後も設置可能な箇所への増設を望みます。各部所管の事業を複合化し運営する公共施設の名称を本来の機能が分かる表記とするよう検討を求めます。産業経済費 デジタル版プレミアム付商品券を区民にとって使いやすく、商店の方々にも商機の拡大になるよう取り組むことを要望します。福祉費 パランしようぶの整備を評価するとともに更なる整備と親つき後の施設の拡充を望みます。看護小規模多機能型居宅介護施設、定期巡回・随時対応型訪問介護看護施設の更なる拡充を望みます。子育て支援環境にとって有意義な子育てひろば事業は、今後の事業展開に工夫を凝らしサービス向上を求めます。また施設改築、改修需要に備え有効な財政運営を求めます。医療的ケア児及びその家族に対する支援に関する法律の施行に基づき、医療的ケア児を受け入れる施設の整備を求めます。



に対するコロナ対策支援を求めます。コロナ禍で家庭用生ごみ処理機購入助成件数が5倍に増加したことを踏まえ、区民への周知と、ごみ減量の更なる推進を求めます。

**都市整備費** JR駅ホームドアの設置における区補助金要綱を改正し、亀有駅・金町駅・新小岩駅緩行線の駅ホームドア設置の早期実現を要望します。

かめありリリオパーク内のポイ捨て防止のため、意識啓発とともに創意工夫し具体的な対策を講じるよう求めます。**教育費** 学校プールのあり方について十分な現状把握と公共プールを必要とする試算をし、更なる検討をいたうえで、改めて説明を求めます。それらを踏まえ金町公園プールの改築に関しては、十分な庁内の調整と区民・議会への理解を求める努力を強く望みます。

不登校児童・生徒には連続性をもった取組みとより細やかなよりそいを望みます。不登校等のまま中学校を卒業してしまつた区民の方の学び直しができる双葉中学校夜間学級の活用とその周知を望みます。コロナ禍において、修学旅行等の学校行事を中止するときはその代替行事を実施できるように可能な限り早い判断を求めます。学校トイレの改修では屋外体育館の洋式化を進め、衛生配慮・非接触の充実を図るよう求めます。高齢者の健康づくりとしてのスポーツの普及とともに、継続できるよう環境整備を求めます。

**各特別会計は了とします。**

### かつしか区民連合

新型コロナウイルス感染症対策を進め区民を守る政策の実現を！

総務管理費の文書管理は、公文書の保管状況を早急に整理し、公文書管理条例の制定を求める。区史編纂は機会を捉えて情報の更新を求める。公共サイン再構築費はデザイン統一を前提に電柱や地上機器等への活用を求める。災害対策経費において、踏切道の危機管理体制の構築を求める。他自治体の事例を参考に、災害時に活用できるよ

う災害対策を特定目的とした自主財源の確保を求める。公衆喫煙所設置委託等経費は受動喫煙防止や分煙対策の観点から屋内喫煙所の設置検討を求める。文化振興経費はオンライン配信等についても文化芸術振興助成の対象とするなど制度の拡充を求める。

**緊急融資事業経費**は区があつせん後融資未成立の事案など状況を分析し対策を求めるとともに来年度も制度継続を求める。社会福祉費での重症心身障害児(者)等在宅レスパイト事業経費は家族支援・移動支援の充実やグループホーム施設整備を求める。児童福祉費の保育人材確保支援事業経費はHPや相談体制の充実を図り確実な人材確保を求め。児童相談所は開設に向けて熱意ある人材確保と検証委員会の答申を生かし子どもを守る姿勢を区民に発信していただきたい。子ども未来プラザは葛飾区版ネウボラの実現の為、施設規模を考慮し他部署との実務連携を求む。子育てひろば事業は運営事業者や利用者の声を聞き区民ニーズに応え改善を図ることを求める。

衛生費の新型コロナウイルス感染症対策経費は福祉施設へのPCR検査の拡充を評価し、今後、経済との両立を図る為、PCR検査の戦略的な活用の検討を求める。3回目ワクチン接種は、抗体検査や副反応を含め適切な情報提供をし、区民の不安解消に努めること。環境費・清掃費は災害廃棄物処理計画の策定を評価する。震災のみならず水害時の廃棄物の視点も持つよう求める。また職員の育成、スキル等を引き継ぐ為計画的な採用と人材確保・育成を望む。プラスチックの再商品化は法成立を踏まえ、対応の工夫と準備を求む。新清掃事務所建設はヒ素が検出された少年野球場の土壌汚染調査を求むとともに補助制度を再度都へ交渉せよ。都市整備費・街づくり費の堀切地区の街づくりは京成本線荒川橋梁架替の実現迄の期間、様々な工夫をして地域に不安を払拭するよう求む。また駅前の都道の歩行空間拡幅と駅周辺の一体的な整備を要望する。公共交通は地域と

のフリーダー系統の早急な充実を求む。青戸六・七丁目地区街づくり事業は青戸六丁目自さくら公園の整備完了を含め、地域と協働しての街づくりを求む。教育総務費の教育研究奨励事業は教科研究活動の重要性に鑑み、オンラインなどを活用し、成果の共有に期待する。学校図書館支援経費は蔵書点検を推進し、今後の図書資料の資源共有化の実現を求める。また、学校図書館システムと校務システムの連携の検討を求める。特別なニーズに対応する学校図書資料の研究を求める。スクールカウンセラーは資質向上の取り組みを進め、スーパーバイザー導入の検討を求める。スクールソーシャルワーカーは他機関との連携を深め、更なる拡充を求める。学校給食運営経費において、新型コロナウイルスでの簡易な昼食の提供を評価し、危機管理上必要な体制の検証を求める。

社会教育費の図書館管理運営はレファレンスの周知を進め、子ども読書活動推進計画の策定に期待する。放課後支援事業は学童保育とわくわくチャンネル広場の方向性を明確にし、委託を進める場合は地域の資源を有効活用する体制を求める。各特別会計は了とする。

### 日本共産党葛飾区議会議員団

区役所移転・建替えは中止のち書いしを優先

**不十分な新型コロナウイルス対策**  
一番身近な自治体として、本区のコロナ対策が問われてきました。わが党議員団は、現在まで15回におよぶ緊急コロナ対策を区長に要請してきました。いつでも、だれでも、何度でも、無料でPCR検査が受けられるように、希望する区民がワクチン接種を迅速に、集団接種の改善、区内事業者への協力金の上乗せ、独自の家賃支援などを求め、一部実施されたものもありますが、全体として不十分です。また、政府方針である「原則自宅療養」を強いられることで、区内でも、40代、50代の方が自宅で亡くなっています。臨時の医療施設を設置することが必要

です。災害対応のための基金を90億円積み増しし、236億円も残っています。コロナ対策に使うべきです。

**国保料、後期高齢者保険料の値上げは許されません。**また、駐車場会計への過度な税金投入は認められません。**学校プールの廃止は撤回を**  
まともな説明もなく、学校プールを廃止し、水泳指導を区立・民間の室内温水プールを活用して実施すると突然言いはじめました。バスなどでの移動時間や安全対策、夏季休業中の水泳指導、消防水利、災害時の避難所機能など、問題だらけです。さらに、金町公園ともう1か所に室内温水プールを整備すると突然打ち出しましたが審議をすればするほど、矛盾が噴出するこの方針は、撤回しかありません。

**子どもの命と暮らしをまもれ**  
区の児童相談所は必要なものですが、「令和5年度設置先にありき」は問題です。区内での児童虐待に対して、まともな原因究明もできていません。必要な人員配置が不十分なまま児童相談所設置をすすめています。さらに、民有地に35年間の定期借地権を設定し約9億2千万円もの税金を使い、建設工事費25億5千万円の建物を契約終了時に解体、地権者に土地を返すというもので認められません。

今年4月1日現在を「待機見ゼロ」と示しましたが、認可保育所に申し込んでも入れていません。月を追うことに待機児が増え、秋には数百人規模となります。にもかかわらず、基本計画から「待機見ゼロ」を削除したのは問題です。  
**学童保育クラブはどこでも待機児童が生まれています。**「学校内にしか設置しない」という区の考えは撤回し、増設すべきです。  
子ども未来プラザの整備を機に児童館を廃止するのは認められません。こうした背景には「子育て支援施設」の整備方針があり、撤回すべきです。  
**反社勢力に毅然とした対応を**  
反社会的勢力とかかわりがある事業

者と西小菅小学校仮校舎借上げの契約をしているが、要綱にもつき適切に対応すべきです。リース契約も他の基準同様、議会にはかかるべき。

**再開発への莫大な税金投入はダメ**  
金町南口駅前再開発は売れない3階フロアを15億円が購入。東金町一丁目西地区は1基90万円もする地下駐車場の整備し、その上、自動車教習所を優遇していると思えない再開発計画です。新小岩南口再開発、立石駅南口東地区・西地区再開発等、どこもタワーマンションで、「葛飾らしさ」地域らしさはありません。

立石駅北口再開発に、あと37年間使える区役所を移転・建替える必要はありません。  
今後ものちを第一に、ふれずがんばります。

### 颯新かつしか

総合庁舎の整備は所有権で整備すべき

総合庁舎は市街地再開発事業の手法ではなく所有権で整備すべきである。区分所有権の建物の建て替えがいかに大変か全く理解していない。また駐車場の管理費・修繕費、西棟でのバンクエット整備検討など公表されていない事実が多すぎる。さらには事業協力者が決定したが、価格の審査など選定過程を明らかにすべきである。  
**私立保育園の安定的な運営を図るための緊急対策は全ての保育園運営事業者が公平に補償される制度を構築すべき。**区立保育園は9月から随時入園を休止したが理由を説明していないので説明すべき。新型コロナウイルスワクチンの接種率は現役世代でみると23区で下から2番目である。隣の墨田区は接種率を100%、葛飾区は70%と想定しており、接種率を低く見込んだ影響が現役世代にしわ寄せが来た形となっている。肺がん検診は2人の医師が医療機関と医師会で読影を行っている。しかし27の医療機関は自院で読影を完結

しており、改めるべきである。  
東金町再開発事業では地下の公共駐車場は1mあたり55万8千円は高すぎる。東棟の地下駐車場並みの価格にすべき。また区有財産が9千500㎡あり、殆どの自治体に参加する市街地再開発では権利変換の縦覧手続きを進めており、全員同意型を進めるべきではない。児相は旧学校跡地ではダメだったのか。立石の民有地に決定しそうだが借地契約は令和2年4月であり、再検討する時間はあつたはず。来年度は小学校7校の水泳授業が始まるが、詳細な資料がないまま計画が進められている。児童・生徒に授業のリスクを負わせる学校プールの廃止計画は見直すべき。

### 無所属 (※1)

予算編成の適正化と合理的歳出を

令和2年度の実質収支は普通会計決算額で147億円。令和元年度、平成30年度も23区で一番高く、100億円を超える区は他になし。財政調整基金や教育施設整備基金など重要な積立金を決算剰余金だのみにし、当初予算に計上しない事。また一般行政経費の査定が甘い事が原因かと推察する。決算剰余金を他区と同等レベルまで抑え、計画的に基金の積立を行うべし。中小企業融資事業経費で6億6千万円、新型コロナウイルス対策緊急融資で10億6千万円もの執行残。令和3年度はより必要や効果のある事業を実施すべし。ライティング事業負担金については、全ての事業において大部分を区が負担。おいでよ亀有事業では実際の事業費より区の決算額の方が多い。不適切の極み。区と実行委員会の負担部分不明。事業費の上限もなし。区が実施するか廃止すべし。保育園や幼稚園総計の空き定員が右肩上がりに増加。令和3年度実質3千599人、区が用意する定員の約2割。待機児解消のための弾力化の推進保育ママ制度の拡充、緊急対策事業の実施等不十分。フルスペックの施設整備推進が原因。0才児保育の空きを補



助金を10月以降区の単独助成により金銭的に補償し、さらに給付金を高く算定できるように利用定員を認める。私立認可保育園の経営維持のため、運営費助成を増大せしめる。公立保育園の廃止縮小をはじめ、対応策を至急検討すべし。歯科診療所に対する9か月約20万円の補助異論なし。診療報酬委託で説明するのは不合理。議会の合意を得て、補助金で支出すべし。議会に提出する資料は記載内容、数値とも、より正確に。

無所属 (※2)

全ての区民の皆様へ寄り添った安全・安心・便利な街づくりを！

総務費 水防関係経費の広域避難対策につき、区民の広域避難場所の確保や江東五区と関係機関が実施すべき事項の整理が必要である。自主避難時の宿泊費助成について国や都に働きかけていくべきである。民間建築物耐震診断・改修事業経費につき、耐震改修や建て替え等診断後のフォローも充実させて頂きたい。区民費につき、各駅前の喫煙所の美化・分煙対策を徹底して頂きたい。戸籍住民基本台帳費につき、区役所内の各証明書発行手数料支払いのキャッシュレス化を求める。産業経済費 地元の中小企業・個人店舗に対する電子決済導入支援策の一層の充実を求める。福祉費 PCR検査費用の助成要件の緩和を求める。また、公衆浴場の「くつろぎ入浴券」の江戸川区との相互利用の協議を求める。都市整備費 民間建築物アスベスト対策工事費につき、解体工事に係る助成要件の緩和は、高額な解体費用がネックとなり滞っている空き家解消にも繋がることから、国や都に協力を求めながら実施して頂きたい。また近隣の状況に配慮しつつ、ボール遊びの出来る公園の増加を望む。教育費 学校図書館支援経費につき、子供達に支給されているタブレット端末でも本が読める取り組みを検討して頂きたい。また民法改正で未成年者取消権を行使できなくなる

年齢が引き下げられることから、小中学校でも消費者教育を行うて頂きたい。社会体育費につき、クライミング施設の利用促進を望む。駐車場や宿泊場所の確保等について都の協力を得ながら大規模なクライミング大会等も当該施設で開催し、クライミングの普及に繋げて頂きたい。

無所属 (※3)

治安・社会の安定と守りは教育政策に淵源あり！

多文化共生社会推進事業経費は、昨年度はコロナ禍で中止となった事業が多いが、国際交流にはプラス面とマイナス面がある。犯罪増加が懸念される中、民間団体を活用し、外国人コミュニティの実態把握も必要だ。備蓄品管理経費に蓄電池式電源整備が含まれたが、災害時に適切に非常用電源が始動するように、区内施設に設置された電源に、負荷をかけた点検を徹底して指導すべき。外国人学校児童生徒保護者負担軽減経費は、保護者の所得制限無しに支出している現状こそ不当であり、平等原則に反する支出と指摘する。新生児聴覚検査経費に、ウィルス性難聴検査を追加すべき。商店街イベント経費など、コロナ禍後には積極活用できるようにすべきである。健全育成及び生活・進路指導経費では、道徳授業の中で人権教育としてアニメ「めぐみ」のDVDを活用した授業が定着していることを評価したい。北朝鮮による日本人拉致事件を風化させてはならない。不登校対策推進経費は、外国人未就学児童生徒が大きく減少したことを評価する。外国籍保護者に児童の通学を促すことは、子供たちの将来の貧困化への歯止めとなる。また、教育の機会を得なければ、低所得層となり、犯罪に関わる可能性が高くなる。外国籍の児童生徒が低年齢時から日本社会に溶け込めば犯罪抑止に繋がり、社会の安定に寄与する。校舎建設経費で、今後は改築する小学校にプールを設置しないことになる。区内に屋内プール建設を進める等、本区の方針を明確に区民に示すべきだ。学校開放事業経費は、コロナ禍後は遊び場開放を広げ、児童の遊ぶ場所確保をしていただきたい。

無所属 (※4)

区民の命と暮らしを最優先にするために

コロナ禍の中、大きな意識改革を求められる機会が増えている。厳しい状況下ではあるが、本区は駅前開発を控えた地域も多く、今後発展して行く街である。今回は、未来への街づくりや子ども達の教育、感染症対策の無駄削減の確認につとめた。以下、意見を述べる。新型コロナウイルス感染症に関する情報は、一元的にしての広報、発信を求む。区民に配布する酸素濃縮器不足の解消、検査費用の年代問わない補償を求む。コロナ関連職務従事者への危険手当を求む。〈清掃費〉PCR検査の充実や危険手当を要望。ワクチン接種を望む方への手配と共に、打てない方の権利も理解できるように行政の広報を求む。〈環境費〉ゴミのポイ捨てが散見される為、区内有志の団体や個人と連携しての対応を求む。花いっぱい運動と運動が望ましい。〈都市整備費〉開かずの踏切の解消・交通不便地域へのコミュニティバス等の誘致を求む。買い物困難地域となっている高砂一丁目の支援。駅前開発を含めた街づくりは、地域の特性を生かし、住民が愛着と誇りを持つようにする姿勢が必要。〈公園費〉一人当たりの公園、緑地面積が少ない東新小岩・高砂地域での公園を求める地域要望は多い。地域ニーズに見合った公園造りを求む。〈教育費〉不登校の生徒への対策と心のケアを求む。不登校児童に対しては学校・SC・SCWが連携して、家庭、親ごと支援を行う形が望ましい。学校改築は、水泳指導のあり方の説明が必要。学校は災害時に地域の避難所となる為、防災の観点にも比重を置くべき。学校が生徒達が安心して将来へ向けて努力する場であ

無所属 (※5)

駅前再開発・タワーマンション見直し、住まい・暮らし・命の保障を

総務管理費のリリオ亀有リノベーションプロジェクト事業費について、公共サービスの委託でもなく、まるっきし民間事業への負担金であり、協定に基づき10年間負担金を支払い続けなくてはならない等、不合理かつ、検証もされておらず、税金の支出として不適切と考える。また、区が進める駅前再開発が後年度負担を増やすものであることを示している。総合庁舎整備は区民との対話に基づき行うこと。高齢者福祉費の介護従事者の確保について、区内事業所への調査で課題や問題を把握し、実効性のある施策を行うこと。また、区独自の住宅費の負担軽減制度を求む。児童相談所整備について、確実な職員の育成・確保を第一に準備をしていくこと。公立保育園の民営化は保育従事者の確保・定着・育成の観点と歳出削減効果の検証を求める。生活保護費について、国や都の事務連絡や運用事例等、職員に共有すること。住まいを失っている申請者には意向を確認し、複数の宿泊施設の利用を指示すること。ケースワーカーの人員増加を求める。生活保護申請や生活相談しやすい情報提供・周知の更なる工夫を求める。羽田空港飛行ルートの騒音測定・結果の公表を継続すること。飛行ルート見直しを申し入れるべき。清掃費は職員へのコロナ禍での特殊勤務手当、定期的なPCR検査、計画的な職員育成・確保を求める。民間の職員についても定期的なPCR検査が受けられる仕組みをつくることを求める。都市整備管理費の公共交通網充実事業では、区民・労働者側を含めた地域公共交通会議の設置を求める。区営住宅の計画的な整備と、総戸数の拡充を求める。

無所属 (※6)

新型コロナウイルスに負けない新型コロナウィルスに負けない区政運営を

令和2年度は文字通り新型コロナウイルスとの闘いだっただ。人の命を守る為に奔走した全庁の対応は、大変評価する。こうしたコロナ禍にもかかわらず、各事業の成果は、多大である。なかでも将来を見据えた本区の基本構想及び前期実施計画の策定は、今後の本区にとって欠かせない重要な指針であると確信して、かつ期待をする。以下、次の主要な項目につき意見を述べ、今後の区政運営の一助になれば幸いである。総務費は適正に執行され、了とする。なかでも総合庁舎整備基金積立金は、順調であり評価する。一方災害対策費は、今後の気候変動に加え新たな対策を求めるものである。特に障害者や高齢者に対する配慮は、喫緊の課題である。次に産業経済費については、概ね評価する。区内産業を取り巻く経済環境は、依然厳しい状況である。中小零細企業や商店街等については、厚い融資や事業継承の支援を強く求める。福祉費については、了とする。コロナ禍における障害者の就労は大変厳しく、離職した人も少なくない。就業支援センターには、専門の指導員がいるので、この難局を乗り越えていたいただきたい。障害者の就労は、まず社会や企業の理解を求めるものである。衛生費については、大いに評価する。予期せぬ新型コロナが猛威を振るい、病床の逼迫をはじめ自宅療養者が急増し在宅の方々の不安は募るばかりであった。しかし、保健所はじめ各医療機関の不眠不休の対応に敬意を表する。環境費は評価する。清掃事業は、街の美化と衛生のために不可欠である。こみのない美しい街は、その自治体の品位を示す。その他各特別会計は了とする。

決算審査特別委員会委員長報告(要旨)

決算審査特別委員会は、9月8日の本会議において、34名の議員をもって設置され、令和2年度各会計歳入歳出決算について審査を行ったものです。

まず、当委員会では、同日款項別の審査を行うために、4つの分科会を設置し、第1分科会は17名の委員により、一般会計歳入歳出決算のうち、議会費、総務費、産業経済費及び職員費を、第2分科会は17名の委員により、福祉費及び衛生費を、第3分科会は17名の委員により、環境費及び都市整備費を、第4分科会は17名の委員により、教育費及び公債費以下と各特別会計歳入歳出決算を、それぞれ審査事項としました。

第1分科会は9月24日に、第2分科会は9月27日に、第3分科会は9月28日に、第4分科会は9月29日にそれぞれ開催し、所管事項の審査を行った結果、各分科会長から審査が終了した旨の報告書が委員長宛てに提出されました。

当委員会はそれを受けて9月30日に委員会を開催し、各分科会長から審査経過の報告を受けた後、各会派から示された審査事項についての意見を踏まえ、各会計歳入歳出決算について採決を行いました。採決の結果につきましては、「一般会計歳入歳出決算」、「国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算」、「後期高齢者医療事業特別会計歳入歳出決算」、「駐車場事業特別会計歳入歳出決算」について、いずれも賛成多数で報告のとおり認定すべきものと決定しました。

また、「介護保険事業特別会計歳入歳出決算」については、全会一致で報告のとおり認定すべきものと決定しました。





# 次の定例会は12月開催予定です

## 可決された議案等

議案名等下の☑は意見の分かれた案件 (各会派の賛否は下欄参照)

### 【区長提出議案等 17件】

**予 算 4件**

▼令和3年度一般会計補正予算(第5号)

歳入歳出にそれぞれ48億1千901万円を追加し、予算総額を2千131億5千119万7千円とする。

▼令和3年度国民健康保険事業特別会計補正予算(第1号)

歳入歳出にそれぞれ4億6千46万6千円を追加し、予算総額を46億9千846万6千円とする。

▼令和3年度後期高齢者医療事業特別会計補正予算(第1号)

歳入歳出にそれぞれ1千822万8千円を追加し、予算総額108億1千622万8千円とする。

▼令和3年度介護保険事業特別会計補正予算(第1号)

歳入歳出にそれぞれ9億2千356万8千円を追加し、予算総額を43億2千756万8千円とする。

### 決 算 5件

▼令和2年度一般会計歳入歳出決算

▼令和2年度国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算

▼令和2年度後期高齢者医療事業特別会計歳入歳出決算

▼令和2年度介護保険事業特別会計歳入歳出決算

## 永年在職議員を表彰

葛飾区議会では、今定例会初日(9月7日)の本会議において、25年以上の永きにわたり区議会議員として区政伸展に貢献された功績をたたえ、次の1名を表彰しました。

会田 浩 貞 議員

▼令和2年度駐車場事業特別会計歳入歳出決算

### 一部を改正する条例 3件

▼公衆浴場の設置場所の配置及び衛生措置等の基準に関する条例

混浴制限年齢を10歳以上から7歳以上に引き上げるほか、所要の改正をする。

▼旅館業法施行条例

気泡発生装置等の構造設備基準を定めるほか、所要の改定をする。

▼自転車駐車場及び自転車置場条例

新小岩西自転車駐車場を廃止するほか、所要の改正をする。

**契 約 3件**

▼都市計画道路補助第276号線(二口橋南)整備(その1)及び排水施設(その1)工事請負

▼都市計画道路補助第284号線(東新小岩北)整備(その2)及び排水施設(その3)工事請負

▼亀有駅前歩行環境改善(屋根設置等)工事請負

### そ の 他 2件

▼特別区道の路線の認定

高砂七丁目53番23から高砂七丁目53番21まで(延長78・50m)

▼教育委員会委員の任命同意

壺内明氏を任命することに同意

### 【議員提出議案 3件】

### 意 見 書 3件

意見書の要旨は1面に掲載

▼京成本線京成高砂駅から江戸川駅付近における鉄道立体化の早期事業化に向けた意見書

▼出産育児一時金の増額を求める意見書

▼選択的夫婦別姓制度の法制化に関する議論を求める意見書

## 結果の出た請願

請願名下の☑は意見の分かれた請願 (各会派の賛否は下欄参照)

### 採 択 1件

▼次世代へ継ぐ地域建設業存続のための請願

### 不 採 択 1件

▼介護をする人・受ける人がともに大切にされる制度へ介護保険制度への抜本的転換を求める意見提出の請願

音声版(デジター版)CDをご利用ください

視覚障害のある方のために、音声版(デジター版)CDを作成しています。

## 意見の分かれた案件 (○賛成、×反対)

件 名	会 派 名 ( )内は会派所属議員数											議 決 結 果	
	自民 (10)	公明 (9)	区民 (5)	共産 (5)	颯新 (2)	無※1 (1)	無※2 (1)	無※3 (1)	無※4 (1)	無※5 (1)	無※6 (1)		
決 算	令和2年度葛飾区一般会計歳入歳出決算												認 定
	令和2年度葛飾区国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算	○	○	○	×	○	○	○	○	×	○		
	令和2年度葛飾区後期高齢者医療事業特別会計歳入歳出決算												
	令和2年度葛飾区駐車場事業特別会計歳入歳出決算												
条 例	葛飾区公衆浴場の設置場所の配置及び衛生措置等の基準に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	可 決	
	葛飾区旅館業法施行条例の一部を改正する条例												
請 願	介護をする人・受ける人がともに大切にされる制度へ介護保険制度への抜本的転換を求める意見提出の請願	×	×	×	○	×	×	×	×	○	×	不採択	
意 見 書	選択的夫婦別姓制度の法制化に関する議論を求める意見書	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	可 決	

自民=自由民主党議員団、公明=葛飾区議会公明党、区民=かつしか区民連合、共産=日本共産党葛飾区議会議員団、颯新=颯新かつしか、無=無所属

## 区議会だよりに記載の会派等の構成議員をお知らせします (令和3年10月4日現在)

会 派 名	構 成 議 員 名			
自由民主党議員団	秋本とよえ 伊藤よしのり 筒井たかひさ	秋家聡明 梅沢とよかず 峯岸良至	安西俊一 工藤きくじ	池田ひさよし 高木信明
葛飾区議会公明党	牛山正 黒柳じょうじ 山本ひろみ	江口ひさみ 小山たつや	上村やす子 出口よしゆき	くぼ洋子 向江すみえ
かつしか区民連合	うてな英明 米山真吾	大高拓	かわごえ誠一	中村けいこ
日本共産党葛飾区議会議員団	おりかさ明実 三小田准一	木村秀子	中江秀夫	中村しんご
颯新かつしか	うめだ信利	小林ひとし		
無所属 (※1)	会田浩貞			
無所属 (※2)	きょうづか理香子			
無所属 (※3)	鈴木信行			
無所属 (※4)	つたえりな			
無所属 (※5)	みずま雪絵			
無所属 (※6)	むらまつ勝康			



### 広報委員会

委員長 秋本とよえ  
副委員長 小山たつや  
委員 梅沢とよかず  
委員 江口ひさみ  
委員 かわごえ誠一  
委員 木村秀子  
委員 中島俊一  
区議会事務局長 ( )